

第3期ロジスティクス環境会議 第1回本会議 議事録

I. 日 時：2008年7月31日（木） 14：00～15：50

II. 場 所：東京・千代田区 ホテルニューオータニ 本館地下1階 麗の間

III. 出席者：107名

IV. 議 案：

1) 概要と運営体制について

- (1) 概要と運営体制について
- (2) グリーン物流研究会
- (3) 包装の適正化推進委員会
- (4) グリーン物流推進のための取引条件検討委員会
- (5) グリーンロジスティクスチェックリスト調査WG

2) 情報提供活動について

3) 2008年度収支予算について

4) 今後のスケジュールについて

V. 開 会

事務局の徳田より開会が宣され、第3期ロジスティクス環境会議への参加の御礼が述べられた。

続いて、資料1-1、1-2に基づき、ロジスティクス環境会議設立に至るまでの経緯について説明がなされた後、資料1-3に基づき「循環型社会を実現するロジスティクス・グランドデザイン」、資料1-4に基づき「ロジスティクス環境宣言」の説明がなされた。

最後に、資料1-5に基づき、第3期ロジスティクス環境会議の議長、副議長について、紹介がなされた。

VI. 議長挨拶

三村議長より開会挨拶が述べられ、①地球温暖化問題やエネルギー・資源等の高騰に対しては、簡単な解決策はなく、荷主企業と物流企業、あるいは発荷主企業と着荷主企業等の連携のもとに対処していくことが求められる、②産業連携により解決策を見出すことがこの環境会議の特長であり、第3期活動に対しても積極的なご協力をお願いしたい旨の挨拶がなされた。

VII. 第1期からの活動の変遷

増井企画運営委員会 副委員長より、資料2に基づき、ロジスティクス環境会議の第1期からの活動の変遷と第3期活動の方向性について説明がなされた。

VIII. 議事の経過

三村議長の司会のもと、以下のとおり議事が進められた。

1. 議 事

1) 概要と運営体制について

(1) 概要と運営体制について

事務局の徳田より、資料3-1に基づき、概要と運営体制（案）について説明がなされた

(2) グリーン物流研究会

下村幹事より、資料3-2に基づき、グリーン物流研究会の活動概要等について、説明がなされた。

(3) 包装の適正化推進委員会

増井委員長より、資料3-2に基づき、包装の適正化推進委員会の活動概要等について説明がなされた。

(4) グリーン物流推進のための取引条件検討委員会

山本委員長より、資料3-2に基づき、グリーン物流推進のための取引条件検討委員会の活動概要等について説明がなされた。

(5) グリーンロジスティクスチェックリスト調査WG

菅田幹事より、資料3-2に基づき、グリーンロジスティクスチェックリスト調査WGの活動概要等について説明がなされた。また、同調査への回答に対する協力依頼がなされた。

研究会、各委員会からの説明の後、三村議長から、①各社ともに同様の課題を抱えていると考えられることから、委員会に集いそれらを確認することはたいへん重要と考える、②これらの課題に対しては、1社の解答が全社の解答になる可能性もあるので、活発な議論を進めていただきたい旨の要請がなされた。

最後に、概要と運営体制（案）については、全会一致で承認された。

2) 情報提供活動について

事務局の徳田より、資料4に基づき、情報提供活動（案）について説明がなされ、全会一致で承認された。

3) 2008年度収支予算について

事務局の徳田より、資料5に基づき、2008年度収支予算（案）について説明がなされ、全会一致で承認された。

4) 今後のスケジュールについて

事務局の徳田より、資料6に基づき、今後のスケジュール（案）について説明がなされ、全会一致で承認された。

以上をもって、三村議長は第1回本会議の議事を終了した。

2. 行政施策動向について

事務局の徳田の司会進行のもと、オブザーバー各省より行政施策動向の説明が行われた。発表者は以下のとおりである。

1) 経済産業省

商務情報政策局 流通政策課 流通・物流政策室 課長補佐

中村 大紀 氏

2) 国土交通省

政策統括官付参事官 (物流政策)

山口 勝弘 氏

3) 農林水産省

総合食料局 流通課長

吉井 巧 氏

4) 環境省

水・大気環境局 自動車環境対策課長

内藤 克彦 氏

IX. 閉 会

閉会にあたり、岡部副議長より、挨拶が述べられ、参加メンバー間でパートナーシップを深めながら活動を進めていただきたい旨の要望がなされた後、事務局の徳田が閉会を宣した。

以 上